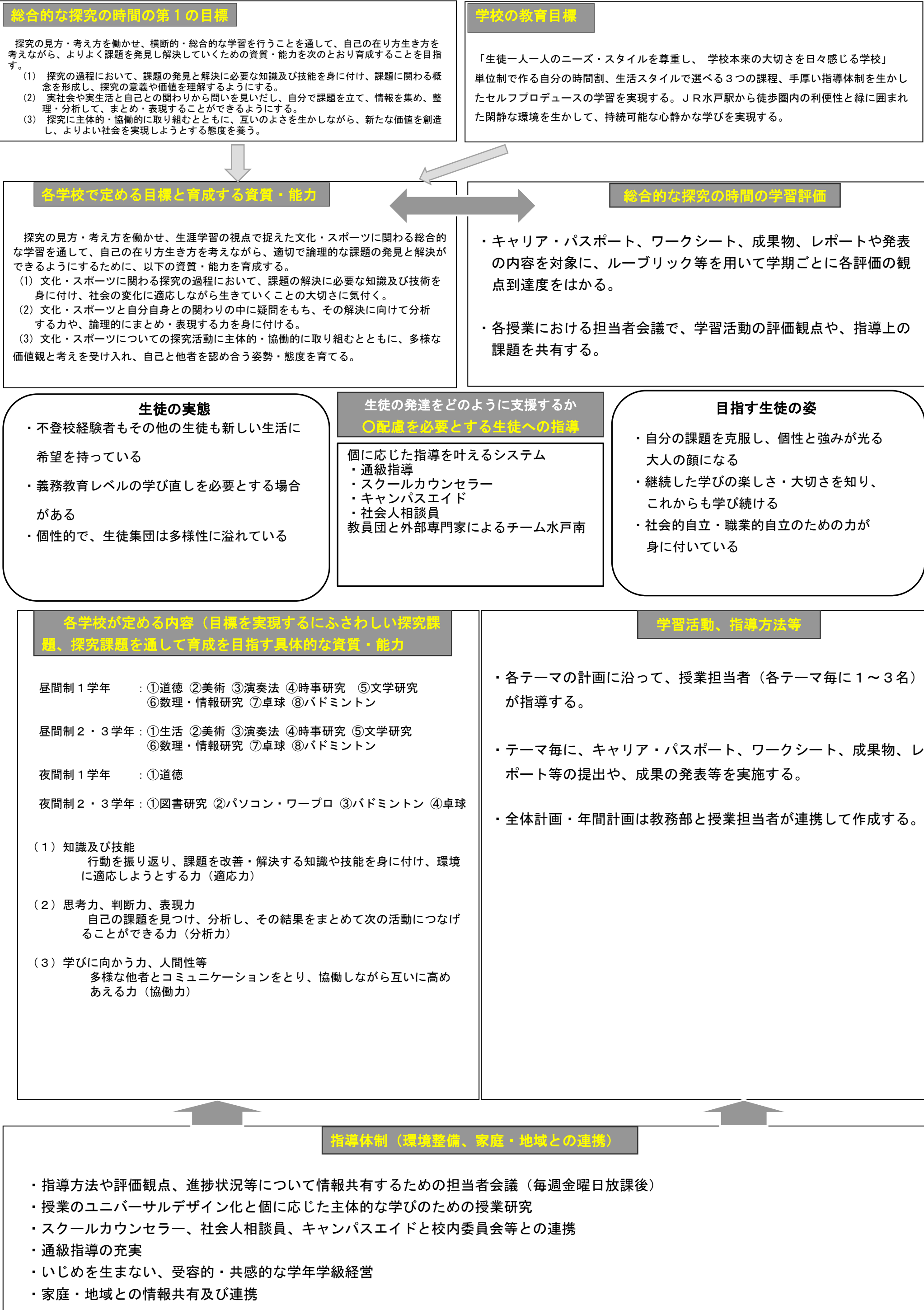




生徒の実態

- ・不登校経験者もその他の生徒も新しい生活に希望を持っている
- ・義務教育レベルの学び直しを必要とする場合がある
- ・個性的で、生徒集団は多様性に溢れている

生徒の発達をどのように支援するか
○配慮を必要とする生徒への指導

目指す生徒の姿

各学校が定める内容（目標を実現するにふさわしい探究課題、探究課題を通して育成を目指す具体的な資質・能力

昼間制 1 学年 ：①道徳 ②美術 ③演奏法 ④時事研究 ⑤文学研究
⑥数理・情報研究 ⑦卓球 ⑧バドミントン

昼間制 2・3 学年：①生活 ②美術 ③演奏法 ④時事研究 ⑤文学研究
⑥数理・情報研究 ⑦卓球 ⑧バドミントン

夜間制 1 学年 ：①道徳

夜間制 2・3 学年：①図書研究 ②パソコン・ワープロ ③バドミントン ④卓球

- (1) 知識及び技能
行動を振り返り、課題を改善・解決する知識や技能を身に付け、環境に適応しようとする力（適応力）
- (2) 思考力、判断力、表現力
自己の課題を見つけ、分析し、その結果をまとめて次の活動につなげることができる力（分析力）
- (3) 学びに向かう力、人間性等
多様な他者とコミュニケーションをとり、協働しながら互いに高めあえる力（協働力）

学習活動、指導方法等

指導体制（環境整備、家庭・地域との連携）